

# 岩崎川の改修事業完了

## 安全流量が7倍に改善

関係者  
典式

矢巾

2013年

8月の豪雨災

害を受けた矢巾町の岩崎川で、県が行っていた河川改修事業が完了した。県によると、河道掘削や護岸工事などを実施し、流下能力(安全な流量)は従来の約7倍に改善。県は20日、同町北矢幅の防災ステーションで記念の式典を行い、関係者が完成を祝った。

式典には県や町、工事関



係者、地域住民ら約30人が出席。高橋昌造町長や矢巾北中の生徒ら7人がテープカットした。

盛岡広域振興局の泉裕之

河川改修工事の完了をテープカットで祝う関係者



局長は「(事業区域内に)2カ所の防災ステーション

を整備した。防災拠点のほか、平時は憩いの場として親しんでほしい」とあいさつ。高橋町長は「完成は町民の悲願であり、感謝の念に堪えない」と述べた。

改修事業は13年の豪雨で、岩崎川流域で床上浸水96戸などの被害が出たことを受け、県が「床上浸水対策特別緊急事業」(14~20年度)として、芋沢川合流点(西徳田)―県道不動盛岡線(上矢次)間の2・6キロで実施した。総事業費は61億1400万円。